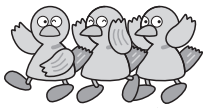


埼玉県獣医師会会報

第700号

令和４年２月20日編集

発行所
公益社団法人 埼玉県獣医師会
〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340
（埼玉県農業共済会館内）
電話 048(645)１９０６
ＦＡＸ 048(648)１８６５
E-mail：s-vma@vesta.ocn.ne.jp
URL：http://www.saitama-vma.org/
振替口座 00110－9－195954番
発行責任者 髙橋三男
編集責任者 大橋邦啓
印刷所 ㈱アサヒコミュニケーションズ

記事の内容

令和４年度の狂犬病の予防注射の時期について…… 1
知事と農林水産業団体長との賀詞交換会… 2
農林水産省枝元事務次官を表敬訪問…… 2
令和３年度埼玉県家畜保健衛生業績発表会開催報告…… 3

新入会員報告
新入会員紹介…… 6

予告
埼玉県獣医師会学術講習会（東支部担当（Web開催））のお知らせ …… 7

ひろば
埼玉県獣医師会学術講習会（南支部担当（Web開催））の開催報告 …… 8
埼玉県獣医師会学術講習会（北支部担当（Web開催））の開催報告 …… 8

お知らせ
埼玉県農林部畜産安全課長からのお知らせ 9
日本獣医師会からのお知らせ……11
令和３年度国内における高病原性鳥インフルエンザの発生状況……13

埼玉県獣医師会学術広報版 ……14

事務局より
事務局メモ……15

編集後記 ……16

公益社団法人 埼玉県獣医師会員憲章

わたくしたち埼玉県獣医師会員は、それぞれの職域において、その責務を遂行し、県民の福祉増進に寄与するため、ここに会員憲章を定めます。

わたくしたち埼玉県獣医師会員は

1．動物の生命を守り、ひとびとの生活を豊かにしよう

1．獣医学術を研鑽向上し、確信を持って業務に邁進しよう

1．動物愛護思想を向上し、心豊かな生活をしよう

1．環境衛生を向上し、福祉増進の実をあげよう

1．職域を尊重し、倫理の昂揚をはかろう

令和４年度の狂犬病の予防注射の時期について

埼玉県保健医療部生活衛生課から以下のとおり情報提供がありました。

事　務　連　絡
令和４年１月31日

公益社団法人埼玉県獣医師会事務局御中

埼玉県保健医療部生活衛生課

令和４年度の狂犬病予防法に基づく狂犬病の予防注射の時期について

狂犬病予防の推進につきましては、日頃格別の御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

標記の件について、厚生労働省健康局結核感染症課から別添写しのとおり情報提供がありましたのでお知らせします。

令和４年度の予防注射の時期についても、新型コロナウイルス感染症の発生状況等を考慮し、今年度と同様に、やむを得ない事情がある場合は、本年12月末までに受けることも差し支えないこととする方向での検討を進めている旨の情報提供となっております。

また、県内各市町村宛て別添のとおり事務連絡を発出しましたので御承知おきください。

※別添写し（厚生労働省健康局結核感染症課から）省略

（写）

事　務　連　絡
令和４年１月31日

各市町村狂犬病予防業務担当課御中

埼玉県保健医療部生活衛生課

令和４年度の狂犬病予防法に基づく狂犬病の予防注射の時期について

標記の件について、厚生労働省健康局結核感染症課から別添写しのとおり事務連絡がありましたのでお知らせします。

令和４年度の予防注射の時期についても、新型コロナウイルス感染症の発生状況等を考慮し、今年度と同様にやむを得ない事情がある場合は、本年12月末までに受けることも差し支えないこととする方向での検討を進めている旨の情報提供となっております。

知事と農林水産業団体長との賀詞交換会

令和４年１月19日（水）、知事公館（さいたま市浦和区）において、知事と農林水産業団体長との賀詞交換会が開催されました。

例年、県内86の農林水産業団体の団体長が一同に会し、県内産の農畜産物を材料にした料理とともに、知事と新年の賀詞交換を行っています。昨年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止となりましたが、今年は三密を避けた会場で飲食なしで開催され、知事の挨拶に続き、団体の代表者が挨拶をした後に業種によるグループごとに知事と記念撮影をして終了となりました。

大野元裕知事を囲む畜産関係団体長

前列左から　根岸信一郎埼玉県畜産会会長、大野元裕知事、髙橋三男会長、植井和子畜産女性いきいきネットワーク埼玉会長

中列左から　高田茂埼玉県酪農協会会長、青木雄治埼玉県学校給食牛乳協議会会長、嶋田淨埼玉県養鶏協会会長

後列左から　長谷川桂一埼玉県肉用牛経営者協会会長、小山喜一郎埼玉県配合飼料商協会会長、松本和治埼玉県畜産技術振興会会長（団体支部）

農林水産省枝元事務次官を表敬訪問

令和４年１月21日（金）、髙橋三男会長が林繁雄理事とともに、東京都千代田区農林水産省において枝元真徹農林水産事務次官を表敬訪問しました。

枝元次官は平成７年７月に農林水産省から埼玉県に出向され、農政課長を２年９か月の間務められました。その後、農林水産省で畜産部（現畜産局）を所掌する生産局長や官房長などの要職を歴任され、令和２年８月に事務方トップの事務次官に就任されました。髙橋会長は、公益社団法人埼玉県獣医師会の活動を説明するとともに、埼玉県における豚熱や高病原性鳥インフルエンザ発生時の防疫対応の状況を説明し、農林水産省の指導や協力に対する謝辞を述べました。参議院本会議中の大変お忙しい中でありましたが、枝元次官には時間の許す限り対応していただきました。

左から　枝元真徹農林水産事務次官、髙橋三男会長

令和３年度埼玉県家畜保健衛生業績発表会開催報告

令和４年１月25日（火）午前10時から、さいたま市の「埼玉会館」において、令和３年度埼玉県家畜保健衛生業績発表会が開催されました。

この発表会は、家畜衛生及び家畜管理技術の改善向上に資することを目的に、埼玉県農林部が毎年度開催しているものですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年度に引き続き参加者が一同に会することなく、助言講師、座長、発表者、来賓のみが会場に参集し、県関係機関が実施した事業や調査研究等に関する成果発表を行いました。その様子はWebで配信され、関係者が視聴しました。

１　開会

発表会は、伊藤麗子畜産安全課主幹の司会で進行し、吉永光宏埼玉県食品安全局長の主催者挨拶に続き、助言講師及び来賓の方々が御紹介されました。助言講師は、公益社団法人埼玉県獣医師会の髙橋三男会長、一般財団法人日本生物科学研究所の佐藤真澄室長、国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究部門の大橋誠一グループ長、埼玉県農業技術研究センターの畑克利副所長、埼玉県中央家畜保健衛生所の丸山盛司所長、の５名の先生方で、また、来賓として埼玉県獣医師会の中村滋副会長と小暮一雄副会長が出席しました。

主催者挨拶をする
吉永光宏食品安全局長（衛生支部）

三密を避けた会場で出席者を制限して開催

助言講師と来賓の先生方
前列左から　髙橋三男会長、大橋誠一動物衛生研究部門グループ長、佐藤真澄日生研室長
後列左から　小暮一雄副会長、中村滋副会長、丸山盛司中央家畜保健衛生所長、畑克利農業技術研究センター副所長

２　発表・討議

発表は３部で構成され、第１部が「家畜保健衛生所の運営及び家畜保健衛生所の企画推進に関する業務」に関するもので７題の発表がありました。また、第２部の「家畜保健衛生所及び病性鑑定施設における家畜の保健衛生に関する試験及び調査成績」は４題、第３部の「家畜保健衛生所以外の畜産関係機関における試験、研究、調査成績」は１題で、合計12演題が発表されました。

それぞれの発表終了後には、髙橋会長をはじめとする各助言講師から、熱心な質問や助言があり、活発な討議が行なわれました。

３　審査結果発表

発表終了後、別室において助言講師による審査会が行われ、埼玉県代表と埼玉県獣医師会会長賞が選考されました。

審査会終了後、助言講師を代表して大橋誠一グループ長から、埼玉県代表として関東甲信越ブロック業績発表会に提出される演題の発表と講評がありました。

埼玉県代表演題

第１部

ATP拭き取り検査機器を用いた搾乳衛生向上指導（熊谷家畜保健衛生所　梅野杏奴）

県内豚熱発生に伴う野生いのしし検査体制の構築（川越家畜保健衛生所　宇賀神ひかる　ほか）

第２部

埼玉県内の牛におけるD型インフルエンザウイルス浸潤状況調査（中央家畜保健衛生所　村田拓馬　ほか）

続いて、髙橋三男埼玉県獣医師会会長が「本日の発表はこの厳しい状況のなかで埼玉の畜産に明かりがみえる発表ばかりでした。審査に予想外の時間を費やしましたが、これは皆さんの日々の熱意が採点の点数にほとんど差がないという接戦となった結果です。選ばれた方々は、関東そして全国の発表会では選ばれなかった方々の気持ちを十分に汲んで頑張っていただきたい。良質蛋白の供給源として頑張っている日本の畜産に対し、科学者として知識を知恵に変えて世界に誇る畜産にしていく陰の力となるのが、獣医師という国家ライセンスを所持する皆さんの責務でもあります。どうか明日から地域畜産関係者の発展を願って十分頑張っていただきたい。」と挨拶を述べたあと、埼玉県獣医師会長賞の受賞者を発表しました。

講評と獣医師会長賞の発表を行う髙橋三男会長

埼玉県獣医師会長賞受賞演題

第１部

豚熱ワクチン接種適期の検討（熊谷家畜保健衛生所　野本ちひろ　ほか）

特定家畜伝染病発生に備えた集合施設運営体制の整備～令和元年の豚熱発生時の課題解決に向けて～（川越家畜保健衛生所　平田圭子）

第２部

牛鼻炎Aウイルスを標的とした新規コンベンショナルPCR系の設計及び検討（中央家畜保健衛生所　小泉舜史郎）

4　表彰及び閉会

審査結果の発表後、関東甲信越ブロック業績発表会への埼玉県代表に選出された３名には野澤裕子畜産安全課長から、また、埼玉県獣医師会長賞に選出された３名については、髙橋三男会長、中村滋副会長及び小暮一雄副会長から表彰状が授与され、午後３時30分に閉会となりました。

埼玉県代表及び埼玉県獣医師会長賞の受賞者を囲んで

前列左から　野本ちひろ先生、宇賀神ひかる先生、髙橋三男会長、平田圭子先生、梅野杏奴先生、小泉舜史郎先生、村田拓馬先生

後列左から　佐藤真澄室長、大橋誠一グループ長、小暮一雄副会長、中村滋副会長、丸山盛司所長、畑克利副所長

広告

ＫＭバイオロジクスは
狂犬病の予防啓発に取り組んでいます。

飼い主の皆さまへ向けて

リーフレット
「狂犬病について考えてみよう」

動画はこちら

アニメーション「狂犬病ワクチンを注射しましょう」

製造販売元　kmb　KMバイオロジクス株式会社
☎(096)345-6505(営業直通)

※本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用してください。

KM2101-4

新入会員報告

新　入　会　員　紹　介

石原（いしはら）　美奈（みな）

団体支部

勤務部会

支　部　名	氏　名	勤　務　先
団体	石　原　美　奈	加須市・高橋動物病院

予　告

埼玉県獣医師会学術講習会（東支部担当（Web開催））のお知らせ

（獣医師生涯研修事業ポイント対象　カリキュラム番号　小2（4）　小3（6））

東支部長　青山　利雄
学術委員会委員長　髙橋　一成
学術委員　笠次　良宣

この度、日本獣医生命科学大学の竹村直行先生をお招きし、心臓病症例の治療と管理を実践的に学ぶセミナーを開催いたします。

明日からの診療に役立つ講義内容となっております。多くの先生方のご参加をお待ちしております。

日　　時：令和４年３月４日（金）
20：30〜22：30

演　　題：「イヌの僧帽弁閉鎖不全症：特にACVIMステージB2の診断・治療について，一般臨床家に伝えたいこと・実践してほしいこと」

講　　師：日本獣医生命科学大学　獣医内科学教室第二　教授　竹村直行先生

参 加 費：無　料

視聴方法：Zoom形式

申込方法：下記URLまたはQRコードより事前登録をお願いいたします。（2月25日金曜日登録締め切り）
https://forms.gle/1AracBpf5wRPKfe6A

そ の 他：本講習会はZoomミーティングにより実施いたします。
Zoomを初めて使用される方は事前にダウンロードと登録をお願いいたします（無料）。
（https://zoom.us/download）
Zoomの表示名は会員名でお願いいたします。
なるべくネット通信環境の良い場所でご視聴ください（速度が遅いと音声・画像が乱れる場合があります）。
講習会の録画・録音はご遠慮ください。
この講習会の見逃し配信は行いません。

ひろば

埼玉県獣医師会学術講習会（南支部担当（Web開催））の開催報告

南支部長　宗像俊太郎
学術委員会委員長　髙橋　一成
学術委員　松尾　英治

２月２日（水）埼玉県獣医師会学術講習会（南支部担当）をオンラインセミナー形式で開催いたしました。昨年に引き続き、小林哲也先生と賀川由美子先生を講師に迎え、それぞれ腫瘍内科学及び病理学の観点から「10万件の国内データーベースから学ぶ、部位別鑑別診断リスト活用のすすめ（胸腔内・腹腔内病変編）」という演題でご講演いただきました。各臓器の発生頻度に応じた鑑別診断の仕方を画像・動画を多用してご教授いただきました。３時間にもわたる白熱したお二人の掛け合いを楽しくかつ整理して学習できたかと思います。

＜参加者＞

参加者	さいたま市支部	南支部	西支部	北支部	東支部	団体支部
93名	17名	20名	16名	6名	24名	10名

埼玉県獣医師会学術講習会（北支部担当（Web開催））の開催報告

北支部長　大橋　邦啓
学術委員会委員長　髙橋　一成
学術委員　山本　慎也

令和４年２月11日（金・祝）、北支部担当として昨年に引き続き、日本小動物医療センターの戸島篤史先生にお願いしてZoom形式のオンライン講習会を実施しました。

「近年よく遭遇する疾患の画像診断」と題して、「急性膵炎って？」「最近多すぎる、猫の尿管結石について」の２部構成で行われ、途中休憩を挟み質疑応答も含めて２時間半、たっぷりと画像診断のポイントと超音波検査のコツをお話していただきました。

膵炎は非常に誤診されやすく尿管結石は見逃されやすいため、画像診断の重要性が非常に高い疾患です。本講習は両疾患に対する画像診断の精度を上げるための理解を深め、即診療に役立てられる非常に有意義な内容でした。

〈参加者：会員51名〉

おしらせ

事　務　連　絡
令和４年１月26日

関係団体の長各位

埼玉県農林部畜産安全課長
野　澤　裕　子

熊谷市及び春日部市における高病原性鳥インフルエンザ疑似患畜確認に係る消毒ポイント設置の考え方について（通知）

本県の畜産振興については、日頃格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本日１月26日に熊谷市及び春日部市のあひる飼養農場２農場において高病原性鳥インフルエンザ疑似患畜が確認されました。疑似患畜計1,798羽の殺処分を５時45分に終了し、現在、殺処分あひるの焼却や家きん舎の消毒作業を進めているところです。

当該２農場はいずれも千葉県における高病原性鳥インフルエンザ発生（国内15例目）に係る疫学関連農場です。そのため、移動制限区域及び搬出制限区域は設定せず、消毒ポイントも設置していませんので御承知おきください。

なお、今シーズンの高病原性鳥インフルエンザの国内発生状況を踏まえ、引き続き、農場出入りの際の車両消毒等、発生予防対策の徹底をお願いいたします。

広告

公益社団法人日本獣医師会 獣医師福祉共済事業

獣医師の皆さまとご家族に
大きな安心を!!

獣医師の皆さまを取り巻く様々なリスクの備えに

「獣医師会のほけん」

獣医療業務や動物診療施設の事故に対する損害賠償請求に備える

獣医師賠償責任保険（クレーム対応サポート補償付） オプション「トリミング・ペットホテル危険担保特約」「個人情報漏えい補償保険」（個人情報取扱事業者賠償責任保険）

団体割引20% 病気やケガに備える

所得補償保険 | 団体長期障害所得補償保険 | 新・団体医療保険*1 | 介護保険*2 | 傷害総合保険 | 動物病院従業員補償傷害総合保険*3

*1医療保険基本特約、疾病保険特約、傷害保険特約、がん保険特約セット団体総合保険 *2介護一時金支払特約セット団体総合保険 *3就業中のみ危険補償特約セット傷害総合保険

動物病院の「什器・備品・医療機器」の損害に備える

動物病院「什器・備品・医療機器」総合補償（テナント総合保険）

保険契約者 公益社団法人 日本獣医師会

このご案内は概要です。詳しい内容につきましてはパンフレットをご請求いただき、取扱代理店または損保ジャパン日本興亜営業店までお問い合わせください。

問い合わせ先

幹事代理店 株式会社安田システムサービス
〒163-1529 東京都新宿区西新宿1-6-1新宿エルタワー29F
TEL:03(3340)6497 FAX:03(3340)5700
受付時間 9:00～17:30(土・日・祝休)

引受保険会社 損害保険ジャパン日本興亜株式会社
団体・公務開発部第二課
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
TEL.03-3349-5402 FAX.03-6388-0161
受付時間 9:00～17:00(土・日・祝休)
損害保険ジャパン日本興亜株式会社は、関係当局の認可等を前提として、2020年4月1日に商号を変更し、「損害保険ジャパン株式会社」になります。

日本獣医師会福祉共済事業各保険の資料は下記幹事代理店までご請求ください。
なお、携帯電話からもご請求いただけます。下のQRコードからアクセスしてください。

SJNK19-10350(2019.12.3)

畜安第８６５－１号
令和３年12月28日

公益社団法人　埼玉県獣医師会
会長　髙橋　三男様

埼玉県農林部畜産安全課
課長　野澤　裕子（公印省略）

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律に基づく医薬品及び再生医療等製品の使用の禁止に関する規定の適用を受けない場合を定める省令及び動物用医薬品及び医薬品の使用の規制に関する省令の一部を改正する省令の制定について（通知）

日頃より本県の家畜衛生行政にご理解、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第83条の３ただし書き及び第83条の５第１項の規定に基づき、下記のとおり農林水産省令の一部が改正され、施行されました。

つきましては、貴会会員へ周知いただくとともに動物用医薬品の適切な使用について御協力をお願いいたします。

記

１　改正の趣旨

牛、豚等の食用に供される動物への使用禁止医薬品として、新たに、ゲンチアナバイオレットを含有する医薬品を追加。

２　改正の内容

（１）医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律に基づく医薬品及び再生医療等製品の使用の禁止に関する規定の適用を受けない場合を定める省令（平成15年農林水産省令第70号）別表に「ゲンチアナバイオレットを含有するもの」を追加。

（２）動物用医薬品及び医薬品の使用の規制に関する省令（平成25年農林水産省令第44号）別表第４に「ゲンチアナバイオレットを含有するもの」の項を加え、その使用禁止用途として、食用に供するために出荷する対象動物等への使用を規定。

３　施行日

令和３年12月28日

４　施行に当たっての注意事項

農林水産省から別紙内容のとおり情報提供がありました。

（別紙）

【今回の改正に関連する製剤について】

国内におけるゲンチアナバイオレットを含有する医療用医薬品等の製造販売業者に対し、厚生労働省が製造販売実態を確認するとともに有効成分又は添加物の切替えに取り組むよう要請してきた結果、ゲンチアナバイオレットを含有する医療用医薬品等は販売されていない。切替え前の製造品で、使用期限が切れていないもの（在庫として残っている可能性があるもの）は次のとおり。

製品名	容量	最終製造品※の使用期限	対応状況	製造販売業者
医療用医薬品				
ステリクロンＢエタノール液0.5	500mL	2022年１月	添加物変更済	健栄製薬株式会社
	5L	2021年12月		
ヘキザックＡＬ液１％青	250mL	2022年９月	別の色素に変更	吉田製薬株式会社
0.5％ヘキザックアルコール液	350mL	2022年８月		
	500mL	2022年９月		
	5L	2022年８月		
グルコジンＢ･エタノール液0.5％	500mL	2022年10月	販売中止	ヤクハン製薬株式会社
一般用医薬品				
0.2％ピオクタニン水溶液「ホンゾウ」	250mL	2022年１月	承認整理済	本草製薬株式会社

※：メチルロザニリン塩化物（ゲンチアナバイオレット）を含有する最終ロット

３日獣発第304号
令和４年２月1日

地方獣医師会会長 各 位

公益社団法人 日本獣医師会
会 長　藏　内　勇　夫
（公印及び契印の押印は省略）

飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令等の一部改正について

このことについて、令和４年１月21日付け３消安第4925号をもって、農林水産省消費・安全局長から別添のとおり通知がありましたのでお知らせします。

このたびの通知は、ムラミダーゼを新規飼料添加物として指定し、また、省令において*Trichoderma reesei* の遺伝組換え体が産生するムラミダーゼについて、ブロイラーを対象と定め、ムラミダーゼを含む飼料は対象家畜等を表示しなければならないことを規定するとともに、規格・基準を設定したことについて、周知徹底を依頼されたものです。

つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

※別添省略

広告

NexGard SPECTRA®
ネクスガード スペクトラ®

動物用医薬品 要指示 指定
犬用ノミ・マダニ駆除剤
犬糸状虫症予防・消化管内寄生虫駆除剤

© 飛行犬

Broadline®
ブロードライン®

動物用医薬品 要指示
猫用ノミ駆除・寄生予防／マダニ駆除剤
猫の犬糸状虫症予防／消化管内線虫・条虫駆除剤

犬も猫も、オールインワン*の寄生虫対策で安心

フィラリア
ノミ
マダニ
お腹の虫

Boehringer Ingelheim
ZENOAQ

＊フィラリア症予防、ノミ・マダニ対策、消化管内寄生虫駆除を1剤で対応　消化管内寄生虫については、効能または効果をご参照ください　®登録商標　2021

令和3年度 国内における高病原性鳥インフルエンザ発生状況

MAFF
農林水産省

（令和4年2月9日時点）

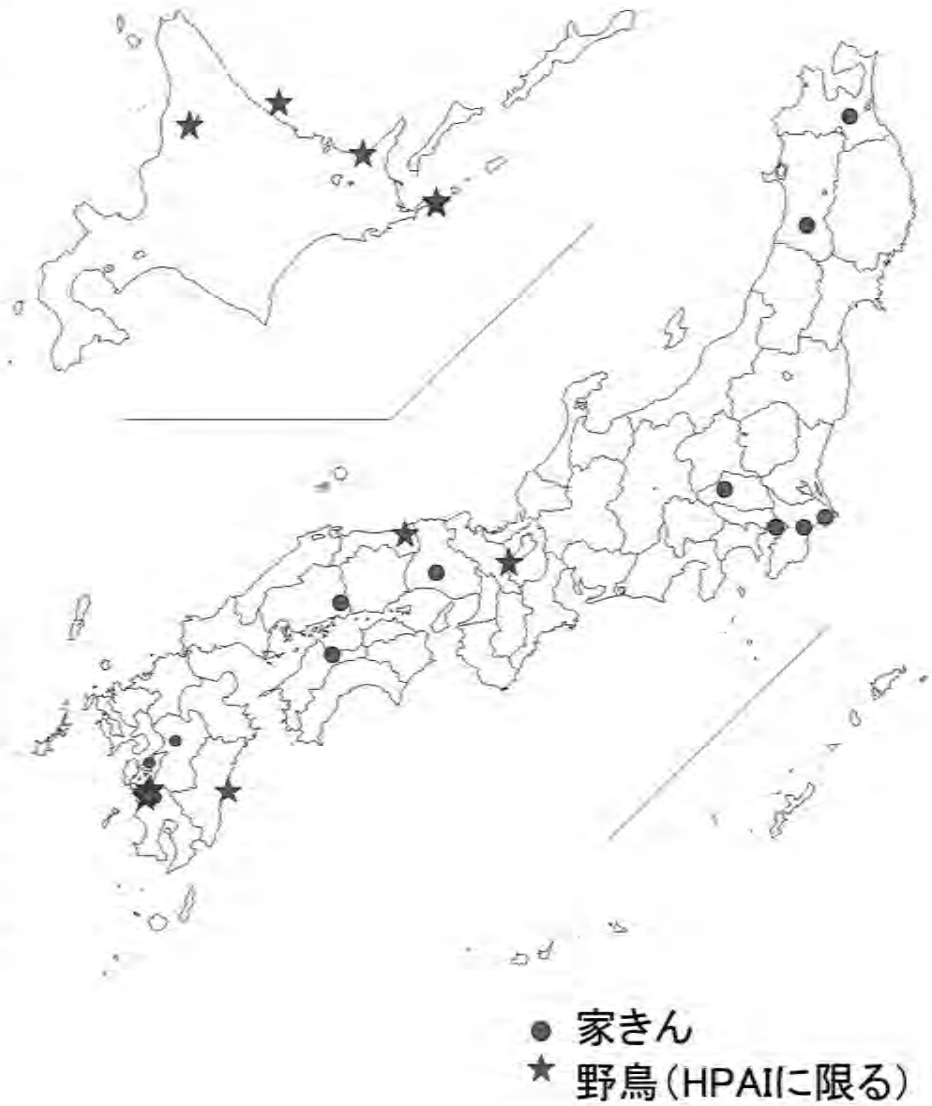
○家きん　9県15事例羽数の単位は万羽

	地域	疑似患畜判定日	用途	羽数	亜型
1	秋田県横手市	11/10	採卵鶏	約14.3	H5N8
2	鹿児島県出水市	11/13	採卵鶏	約3.8	H5N1
3	鹿児島県出水市	11/15	採卵鶏	約1.1	H5N8
4	兵庫県姫路市	11/17	採卵鶏	約15.5	H5N1
5	熊本県南関町	12/3	肉用鶏	約6.7	H5N1
6	千葉県市川市	12/5	あひる（アイガモ）	約0.03	H5N1
7	埼玉県美里町	12/7	採卵鶏	約1.7	H5N1
8	広島県福山市	12/7	採卵鶏	約3.0	H5N1
9	青森県三戸町	12/12	肉用種鶏	約0.7	H5N1
10	愛媛県西条市	12/31	採卵鶏	約13	H5N1
11	愛媛県西条市	1/4	採卵鶏	約8.3	H5N1
12	愛媛県西条市	1/4	採卵鶏	約14.2	H5N1
12関連	愛媛県今治市	1/4	採卵鶏	約0.6	－
13	鹿児島県長島町	1/13	肉用鶏	約5.4	H5N1
13関連	鹿児島県長島町	1/13	肉用鶏	約5.7	－
14	千葉県八街市	1/19	肉用鶏	約6.6	H5N1
15	千葉県匝瑳市	1/26	あひる	約0.19	H5N1
15関連	千葉県匝瑳市	1/26	あひる	約0.12	－
15関連	茨城県かすみがうら市	1/26	あひる	約0.11	－
15関連	埼玉県春日部市	1/26	あひる	約0.14	－
15関連	埼玉県熊谷市	1/26	あひる	約0.04	－

○野鳥　17事例（HPAIに限る）

※詳細は環境省https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/

	検体回収場所	検体回収日	種名	亜型
1	鹿児島県出水市	11/8	環境試料（水）	H5
2	宮崎県宮崎市	11/9	糞便	H5N1
3	鹿児島県出水市	11/19	ナベヅル	H5N8
4	鹿児島県出水市	11/22	環境試料（水）	H5N8
5	鹿児島県出水市	11/22	環境試料（水）	H5N8
6	鹿児島県出水市	11/29	環境試料（水）	H5N8
7	鳥取県鳥取市	12/1	環境試料（水）	H5N8
8	鹿児島県出水市	12/6	環境試料（水）	H5N8
9	鹿児島県出水市	12/20	環境試料（水）	H5N1
10	北海道苫前町	1/2	オジロワシ	H5N1
11	鹿児島県出水市	1/10	環境試料（水）	H5N8
12	北海道根室市	1/20	ハシブトカラス	H5N1
13	北海道根室市	1/23	ハシブトカラス	H5N1
14	北海道雄武町	1/23	オジロワシ	H5
15	北海道小清水町	1/22	オオワシ	H5
16	京都府京都市	1/27	ノスリ	H5
17	北海道根室市	1/28	ハシブトカラス	H5



農林水産省ホームページ　https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/attach/pdf/r3_hpai_kokunai-129.pdf

令和３年度埼玉県獣医師会学術広報版

（令和４年２月20日現在）

年　月　日	産　業　動　物	小　　動　　物	公　衆　衛　生
４月			
５月			
６月			
７月			
８月			
９月９日（木）		北支部 「新型コロナウイルス感染対策および動物への感染について」 東京農工大学農学部付属感染症未来疫学研究センター　水谷　哲也　先生 【Zoomにて開催】	
９月12日（日）	令和３年度　関東・東京合同地区獣医師大会（栃木）獣医学術関東・東京合同地区学会 （宇都宮市　栃木県総合文化センター）→**Zoomにて配信**		
10月31日（日）		さいたま市支部 「猫の心筋症～無徴候猫のスクリーニング検査を考える～」 どうぶつの総合病院　髙野　裕史　先生 【Zoomにて開催】	
11月			
12月			
12月20日（月）		西支部 「よくある脳疾患の診断と治療（てんかんを除く）」 日本獣医生命科学大学　長谷川　大輔　先生 【Zoomにて開催】	
令和４年 １月21日（金） ～２月６日（日）	令和３年度　日本獣医師会獣医学術学会年次大会**【Web開催】**		
１月25日（火）	農林支部 令和３年度埼玉県家畜保健衛生業績発表会 （さいたま市　埼玉会館）		
２月２日（水）		南支部 「10万件の国内データーベースから学ぶ、鑑別診断リスト活用のすすめ（胸腔内・腹腔内病変編）」 ノースラボ　賀川　由美子　先生 日本小動物医療センター　小林　哲也　先生 【Vetscopeにて開催】	
２月11日（金・祝）		北支部 「第１部：最近多すぎる、猫の尿管結石について」 「第２部：急性膵炎って？」 日本小動物医療センター　戸島　篤史　先生 【Zoomにて開催】	
２月			衛生支部 健康福祉研究発表会 食肉衛生技術研修会
３月4日（金）		東支部 「イヌの僧帽弁閉鎖不全症：特にACVIMステージB2の診断・治療について、一般臨床家に伝えたいこと・実践してほしいこと」 日本獣医生命科学大学　竹村　直行　先生 【Zoomにて開催】	

事　務　局　メ　モ

ホームページ会員専用ページ　入室は　URL　http://www.saitama-vma.org/

ID：SVMA（半角・大文字）　パスワード：MITSUO（半角・大文字）

２月27日　第３回関東・東京合同地区獣医師会理事会(栃木県宇都宮市　ホテルマイステイズ宇都宮)→Web開催

３月４日　埼玉県獣医師会学術講習会(東支部担当(Web開催))

４月17日　第１回関東・東京合同地区獣医師会理事会・幹事会(神奈川県海老名市　レンブラントホテル海老名)

７月３日　第２回関東・東京合同地区獣医師会理事会・幹事会(神奈川県藤沢市　藤沢商工会)

９月４日　関東・東京合同地区獣医師大会・三学会(神奈川県藤沢市　レンブラントホテル海老名)

令和５年

２月26日　第３回関東・東京合同地区獣医師会理事会(神奈川県藤沢市　藤沢商工会)

11月11日～13日　第21回アジア獣医師会連合(FAVA)大会、第40回日本獣医師会獣医学術学会年次大会(令和４年度)(福岡県福岡市　ヒルトン福岡シーホーク)

広告

わたしたち森久保薬品は人と動物の「これから」を真剣に考えています。

森久保薬品株式会社

神奈川：046-221-0620　山梨：055-224-5278　群馬：027-230-3322　東京：042-564-2381　埼玉：04-2968-0881
三郷：048-948-2112　栃木：028-666-3399　茨城：0296-43-1661　千葉：043-309-8080

編 集 後 記

COVID-19に翻弄される毎日が続いていますが、時は流れ４日には立春がやってきました。長い長い冬もじっと耐えていると春がやってくるのですね。毎日の天候を観察すると、例年の春、というより三千年続く人類の歴史上の春と様相は異なっているように思われます。1960年代に真鍋淑郎博士が予測した通り、二酸化炭素過剰産生による地球温暖化が現実のこととなってきました。百年に一度の気象災害が毎年のように姿形を変えてやってきています。８日の毎日新聞には、極端な海水温上昇である『海洋熱波』が北海道沖を含む北西太平洋で昨年７～８月に観測されたことが報じられていました。研究者によると、海面水温が平年より最大で５～６度も高かったそうで、感覚的には気温が平年より数十度高いのと同じくらい異常なことだそうです。このことは漁業に影響を及ぼし、イワシの回遊状況が変化し、北海道沖の漁獲量は減少し、暖かい海域に生息するブリの漁獲量が急増しているそうです。新聞によると、国連の気候変動に関する政府間パネル(IPCC)は昨年８月に公表した報告書で、世界の海洋熱波の頻度が倍増し、その原因として人間活動に伴う二酸化炭素増大による温暖化を指摘しています。

我々は文化的食生活を営むために熱帯雨林を切り開き先進国が必要とする栽培農作物を大量に生産しています。このため現地の伝統的食生活は破綻し貨幣経済に依存するようになり住民は先進国の経済力によって奴隷化されています。我々はそのような現実を直視しないで文化的生活を享受しています。先進国のプラスチックゴミは、マイクロプラスチックとして世界中の海を彷徨い多くの海洋生物に不可逆的障害を与えています。そのような加害者意識から免罪符のようにエコバックを購入していますが、そのエコバックすら新しいデザインのものが次々と開発・販売されています。エコバックが生産される過程での人権侵害や環境への負荷に対して、我々は想像力を働かせることをためらいます。先進国における文化的生活を支えるための生産に伴う二酸化炭素の増大は、相乗的に地球温暖化を促進し、気候変動の結果としての気象災害をもたらします。その被害は、先進国よりむしろ先進国の生活を支えるために犠牲となった人々の上に多くをもたらします。

生命科学の分野でも、人々の限りない欲望が顕となっています。遺伝子操作をしたブタの心臓をヒトに移植したことが報じられました。人間の限りない生存への欲望は制御することが極めて難しいものです。しかし、その欲望を抑制して初めて人は心を穏やかにすることが出来るのではないでしょうか。

お釈迦様の言葉に『たとえお金が雨となって降り注いできたとしても、欲望は満足することがない。賢い人は「欲望とは、味わいのない苦しみだ」と知る。』(ブッダ　真理のことば　佐々木閑著より引用)とあります。我々の命を含め、地球上に存在するもの全ては有限です。限りあるものを無限のものと錯覚したり、限りないものにしようとする欲望は、限りない苦悩となります。我々獣医師は、ナマの生老病死と日々向き合い、人生の深淵に接し欲望の虚しさを知ります。お釈迦様は、『貪欲に染まった人は、流れのままに押し流されていく。それはまるで、蜘蛛が自分で作り出した糸の上を進んでいくようなものだ。一方賢者は、その貪欲を断ち切り、執着することなく、一切の苦しみを捨てて進んでいくのである。』(前掲と同じ引用)。世界平和の実現のためには、まず隣人との平和が第一歩であるように、気候変動を阻止する歩みは、真理を知った一人一人が自覚ある行動を実践することと考えられます。会員諸兄のご活躍を祈念しつつ２月号の会報をお届け致します。

(初雁)

日本獣医師会・獣医師会活動指針

ー 動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。ー

1　地球的課題としての食料・環境問題に対処する上で、生態系の保全とともに、感染症の防御、食料の安定供給などの課題解決に向け、「人と動物の健康は一つと捉え、これが地球環境の保全に、また、安全・安心な社会の実現につながる。」との考え方（One World-One Health）が提唱され、「人と動物が共存して生きる社会」を目指すことが求められている。

2　一方、動物が果たす役割は、食料供給源としてのほか、イヌやネコなどの家庭動物が「家族の一員・生活の伴侶」として国民生活に浸透するとともに、動物が人の医療・介護・福祉や学校教育分野に進出し、また、生物多様性保全における野生動物の存在など、その担うべき社会的役割は重みを増すとともに、一層多様化してきている。

3　他方、国民生活の安全・安心や社会・経済の発展を期する上で、食の安全性の確保や口蹄疫、トリインフルエンザ、狂犬病等に代表される新興・再興感染症に対する備えとともに、家庭動物の飼育が国民生活に普及する中で動物の福祉に配慮した適正飼育の推進が、更には、地球環境問題としての生物多様性の保全や野生鳥獣被害対策を推進する上での野生動物保護管理に対する関心が高まってきている。

4　我々、獣医師は、「日本獣医師会・獣医師倫理綱領ー獣医師の誓い ー95年宣言ー」が規定する専門職職業倫理の理念の下で、動物に関する保健衛生の向上と獣医学術の振興・普及を図ること等を通じ、食の安全性の確保、感染症の防御、動物疾病の診断・治療、更には、野生動物保護管理や動物福祉の増進に寄与するとの責務を担っている。

5　獣医師会は、高度専門職業人としての獣医師が組織する公益団体として、獣医師及び獣医療に対する社会的要請を踏まえ、国民生活の安全保障、動物関連産業界の発展による社会経済の安定、更には、地球環境の保全に寄与することを目的に、「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」を活動の理念として、国民及び地域社会の理解と信頼の下で、獣医師会活動を推進する。

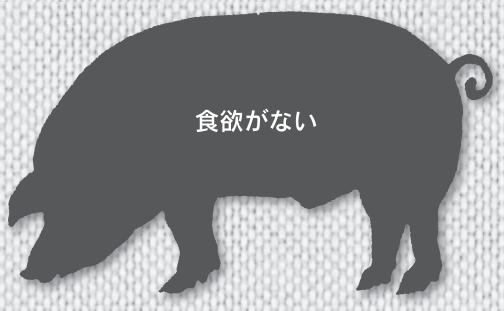
【参　　考】
「One World-One Health」とは、動物と人及びそれを取り巻く環境（生態系）は、相互につながっていると包括的に捉え、獣医療をはじめ関係する学術分野が「ひとつの健康」の概念を共有して課題解決に当たるべきとの考え。2004年に野生生物保全協会（WSC）が提唱した。また、国際獣疫事務局（OIE）は、2009年に「より安全な世界のための獣医学教育の新展開」に関する勧告において、動物の健康、人の健康は一つであり生態系の健全性の確保につながるとする新たな理念として「One World-One Health」を実行すべきである旨を提唱している。

社団法人日本獣医師会　平成22年度第1回理事会決定（2010年5月）

ACTY

そんな悩みを

わかっていてくれる。



アクティは大切な動物の健康をサポートします。

私共、アクティ動薬事業部は、動物病院ならびに
牛、豚、鶏などの産業動物を対象とした
動物用医薬品、特別療法食、医療機器等の販売をしています。
20世紀は抗生物質の時代、
21世紀は生菌製剤の時代といわれるように、
健康に関する考え方も大きく変化してきています。
私たちは、獣医療を支えている関係者、畜産農家、
ペットオーナーの皆様方と共に、健康で、豊かで、安心な
生活を営んでいけるように、力を注いでまいります。

本社・長野県営業部
〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村8228
TEL:0263-87-7247 FAX:0263-87-7247

北関東営業所
〒370-1135 群馬県佐波郡玉村町板井 870
TEL:0270-65-0552 FAX:0270-65-0553

さいたま営業所
〒338-0004 埼玉県さいたま市中央区本町西5-3-24
TEL:048-611-6111 FAX:048-611-6116

千葉営業所
〒260-0851 千葉県千葉市中央区矢作町 243
TEL:043-308-0221 FAX:043-308-0223

茨城営業所
〒311-4152 茨城県水戸市河和田1丁目1642-1
TEL:029-306-8271 FAX:029-251-3880

山梨営業所
〒409-3863 山梨県中巨摩郡昭和町河東中島1599-4
TEL:055-275-5573 FAX:055-275-5564

アクティ株式会社 http//www.acty-kk.com